

力強い太鼓の音が心に響く

～日本海に響け！太鼓の祭典・秋田県太鼓フェスティバル～

仁賀保太鼓伝承会結成20周年記念事業として8月2日、仁賀保体育館会場に「日本海に響け！太鼓の祭典」と「第22回秋田県太鼓フェスティバル」が同時開催され、会場には約900人の観衆が詰めかけました。

祭典では、にかほ・象潟子ども太鼓教室、院内・平沢・小出小学校太鼓クラブ、象潟九十九太鼓、ほか県内の太鼓団体が力強いパチさばきを披露しました。後半には、秋田県内の大太鼓が集結し、初の試みとなった大太鼓ネットワークが迫力満点の演奏を披露しました。最後に仁賀保太鼓伝承会が20周年記念にふさわしい演奏を披露し、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。



迫力満点の演奏を披露

地域住民の手でスポーツクラブを！

～総合型地域スポーツクラブ設置検討会～

7月23日、にかほ市に総合型地域スポーツクラブの設立を検討するため、スポーツ関係者や他分野の方を交えた検討会が開催されました。

総合型地域スポーツクラブは仲間づくりや健康・体力づくりなどを目的とし、『老若男女が、いろいろな種目を、楽しむレベルから競技スポーツまで、総合的に地域住民の力で行う』ものです。

検討会では、にかほ市のスポーツの状況や、少子化による現状等を話し合い「指導者がいなくて困っている」といった意見も出されました。今後も設立に向けて前向きに検討を重ねていきます。



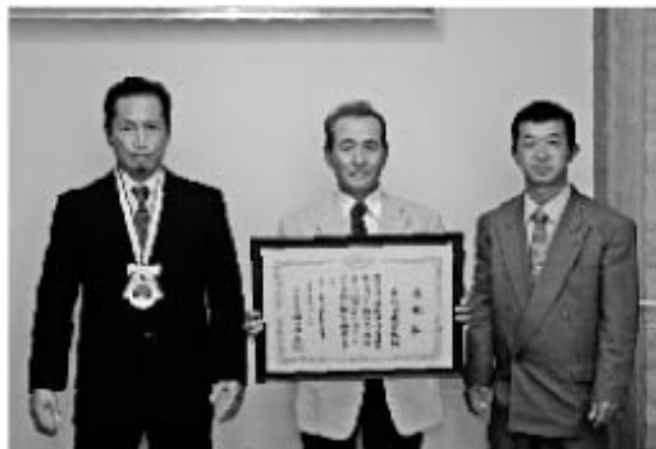
検討会ではさまざまな意見が出されました

各地へ広がったハタハタの人工産卵場

～第1回海洋立国推進功労者表彰～

今年新たに創設された「海洋立国推進功労者表彰」が行われ、象潟水産学級が内閣総理大臣からの表彰を受けました。これは科学技術・水産・環境・海事など海洋に関する幅広い分野で普及啓発・研究・産業振興等に顕著な功績をあげた個人・団体を表彰するものです。

象潟水産学級では、現在各地へ普及している古網を利用したハタハタの人工産卵場を考案したほか、沿岸域の清掃や植樹活動を通じて環境への活動を展開しています。



市長へ報告に訪れた象潟水産学級の会員

犯罪のない明るい社会を目指して

～第58回社会を明るくする運動～

7月2日、市内の学校前や駅前で、保護司や更生保護女性の会の皆さんが、社会を明るくする運動の啓発のチラシや記念品を配布しました。また同日、法務大臣のメッセージを市長に伝達しています。

7月が強調月間となっている「社会を明るくする運動」は、犯罪を犯した人たちの更生と犯罪被害者の救済について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築いていこうとする運動です。今後は「社会を明るくする運動」にかほ市実施委員会を設立し、強力に活動を推進していく予定です。



校門前で啓発チラシを配布

芭蕉の俳句から生まれた中国とのきずな

～第19回西施まつり～

8月3日、市国際交流協会主催による第19回西施まつりが象潟公民館を主会場に行われました。

今年の西施娘に選ばれたのは、仁賀保高校1年生で茶華道部の加藤香奈さん（鳥の海1区）と工藤柚真さん（28区）。

西施娘の2人が蛸満寺でねむの木の植樹、道の駅象潟ねむの丘では西施像への献花、その後、公民館に移動して「西施の舞」を優雅に披露しました。引き続き会場では、中国語の歌や舞踏、太極拳、魯小葉先生による胡弓演奏などが行われイベントを盛り上げました。



優雅な舞を披露する西施娘

旬の“海の幸”に観客もご満悦

～第12回きさかた「港」海の幸まつり～

7月26日、道の駅象潟「ねむの丘」を会場に、第12回きさかた「港」海の幸まつりが行われました。

青空の下、約4,000人の観光客が会場に訪れ、店先に並んだ旬の海の幸を堪能しました。

全国的なブランドとなっている岩ガキを目当てに訪れた観光客は、ごつごつした殻からは想像もつかない大きくてプリプリとした「白いミルク」の濃厚な旨味に笑顔を見せ、その味わいに感激している様子でした。また、象潟九十九島太鼓の演奏やアラゲ丸の握手会、仙台市や秋田市からのモニターツアー参加者によるカキ剥き体験なども行われ、多くの観光客がまつりを楽しみました。



カキの美味しい匂いにつられ、店先にならぶ観光客